

科目名称：	音楽表現研究 I	
担当者名：	朝倉 喜裕、水上 和子、上野 高裕	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
クラス単位の授業担当と同じ先生によるピアノレッスンを行ない、習熟度と現場表現実践力の向上を目指す。また、指導案の計画も含め、こども園・幼稚園での実践演習の協働研究の時間としても活用する。		
授業の達成目標・到達目標		
現場での表現内容・手段の蓄積、指導案の計画と記述の上達、器楽・歌唱表現の実践力の向上を目指す。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)			30	70	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 (水上) 附属西南幼稚園園長代理	《経験年数1》3年
	《内容2》 (水上) 附属西南幼稚園園長	《経験年数2》1年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
ピアノ演奏技術	テンポ、リズムが正しくミス無く、暗譜をして演奏することが出来る。	テンポ、リズムが正しくあまりミスが無く、ほぼ暗譜をして演奏することが出来る。	テンポ、リズムが正しくあまりミスが無く、楽譜を見て演奏することが出来る。	練習不足でミスが多く曲の途中で止まらないように努力を要する。
課題の進め方	指導案の作成に意欲的、自発的に取り組んでいる。	指導案の作成に丁寧に取り組んでいる	指導案の作成に、ほぼ取り組んでいる。	課題に取り組む努力を要する。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 授業ガイダンス・概要説明、グループ説明とグループ割り、レッスン時間調整他	シラバスを読んでおく	40分
第2回 ピアノ個人演奏+表現協働研究	演奏曲の予習をしておく	60分
第3回 ピアノ個人演奏+表現協働研究	演奏曲の復習と予習をしておく	60分
第4回 ピアノ個人演奏+保育実践演習のための指導案研究	演奏曲の練習と指導案研究をしておく	80分
第5回 ピアノ個人演奏+保育実践演習のための指導案研究	演奏曲の練習と指導案研究をしておく	80分
第6回 ピアノ個人演奏と幼稚園訪問	演奏曲の練習と指導案研究をしておく	80分
第7回 ピアノ個人演奏+実践演習反省会	演奏曲の練習と実践演習のまとめをしておく	80分
第8回 ピアノ個人演奏+表現協働研究	演奏曲の復習と予習をしておく	60分
第9回 ピアノ個人演奏+表現協働研究	演奏曲の復習と予習をしておく	60分
第10回 ピアノ個人演奏+保育実践演習のための指導案研究	演奏曲の練習と指導案研究をしておく	80分
第11回 ピアノ個人演奏と幼稚園訪問	演奏曲の練習と指導案研究をしておく	80分
第12回 ピアノ個人演奏保育実践演習のための指導案研究	演奏曲の練習と指導案研究をしておく	80分
第13回 ピアノ個人演奏+実践演習反省会	演奏曲の練習と実践演習のまとめをしておく	80分
第14回 個々の演奏のピアノ習熟度確認(プレゼンテーション)	演奏曲の練習をしておく	120分
第15回 個々の演奏でのピアノ習熟度確認(プレゼンテーション)	演奏曲の練習をしておく	120分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、ピアノレッスン曲の練習と協働研究の指導案をまとめることになる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 ピアノ演奏の習熟度確認と協働研究の取り組みで評価 習熟度70% 研究取り組み30%		
課題に対するフィードバック		
協働研究の指導案はチェックして返却する。その後の研究に立ち会い指導を加える。		
教科書・参考書		
プリント、指導案、各楽曲の楽譜		